



メセナの成果、企業の存在感高める

2007年度「メセナ活動実態調査」結果

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内 1-8-2、理事長:福地茂雄/アサヒビール相談役)は、2007年4月に全国の上場企業、協議会会員企業等計4,423社を対象に、メセナ(芸術文化支援)活動の動向について、アンケートによる調査を実施、回答企業は690社、有効回答率は15.6%でした。

2006年度にメセナ活動を実施したと回答した企業は、これまでで最も多い475社(68.8%)、1社当たりの平均活動件数は5.9件でした。メセナ活動費総額については421社が回答、その合計は256億8,647万円で、1社当たりの平均活動費総額は6,101万円となりました。なお、活動費総額1,000万円未満の企業が49.2%を占めています。

取り組みについては、メセナ活動を企業の社会的責任(CSR)の一環として位置づける企業が65.1%に増加、調査を開始した2003年度(51.1%)から毎年着実に増えています。

加えて、メセナ活動の重視点として、「青少年への芸術文化教育」(34.3%)を挙げる企業がこの5年間で約10ポイント増加し、メセナ活動の支援先やパートナーの選定基準を「対象としている社会的課題の重要性」(29.7%)と答える企業も3年間で約7ポイント増えていることから、企業が社会的な役割の一つとしてメセナを捉え、社会のニーズや課題に対応する活動を展開しようとする傾向が見て取れます。

一方で、メセナの成果を、企業はさまざまな場面で感じています。今回、「メセナ活動を通じて企業が得たこと」について質問したところ、308社(64.8%)が「地域との関係がより深まった」と回答。具体的には、活動をきっかけにした地域住民や顧客等とのコミュニケーションの発展や信頼の向上、芸術文化環境への貢献に対する評価などが挙げられました。[具体例の記述回答は添付資料参照]

企業がメセナ活動を通して社会との関係を深め、社会の一員として信頼・期待されることにより、企業の存在感は確実に高まっているといえます。

▶11月15日、調査結果の概要をまとめた「メセナレポート2007」を発行、各社の活動はウェブにて公開します(メセナ活動データベース「メセナビ」<http://www.mecenavi.info/>、同封のプレスリリース参照)。

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人企業メセナ協議会 調査担当:北村、喜多

TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>

社団法人 企業メセナ協議会

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主な事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定を行っている。理事長:福地茂雄、会長:福原義春、正会員149社、準会員40団体。(2007年10月現在)

「メセナ活動実態調査」とは

(社)企業メセナ協議会が、全国の企業を対象に1991年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。メセナ活動の統計調査および事例収集を通じ、企業メセナの課題や展望を探る手がかりとする。調査結果は、企業の文化・社会貢献活動についての代表的なデータとして、企業・行政・研究機関・海外の文化機関等に広く活用されている。調査の企画・分析は、協議会会員企業のメセナ担当者で構成する調査部会が行う。

< 2007 年度「メセナ活動実態調査」おもな調査結果 >

「メセナ活動実態調査」では、宣伝広告費、広報費などの経費で支出した活動も対象であるが、販売促進を主目的とする場合は対象としない。また、スポーツ、学術研究、福祉、環境問題等への支援は対象としない。

メセナ活動の実績

[MA] = 複数回答

メセナ活動の実施状況	回答企業 690 社のうち、「メセナ活動を行った」と答えた企業は 475 社 (68.8%)、「行わなかった」企業は 215 社(31.2%)。 475 社の活動総数は 2,819 件、1 社当たりの活動件数は平均 5.9 件。
メセナ活動の芸術分野[MA]	活動総数 2,819 件のうち、「音楽」1,193 件(42.3%)、「美術」811 件(28.8%)が多く、「伝統芸能」259 件(9.2%)、「演劇」174 件(6.2%)が続く。
メセナ活動の実施方法[MA]	「他団体への資金支援」366 社(77.1%)、「自主企画・運営」275 社(57.9%)、「他団体への非資金支援(マンパワー、場所、製品・サービス、技術・ノウハウ等)」175 社(36.8%)。
メセナ活動費総額	421 社が回答した活動費総額の合計は 256 億 8,647 万円、1 社当たりの平均は 6,101 万円。活動費の分布を見ると、1,000 万円未満の企業が 49.2%。比較が可能な 8 年連続活動費回答企業 84 社の 1 社あたりの平均総額の推移は、1999 年度が 1 億 2,905 万円、2006 年度が 1 億 2,498 万円であり、この 8 年間ほぼ同水準で推移している。

メセナ活動の取り組み

メセナ活動の運営体制[MA]	「メセナ活動の予算を決めていた」企業は 372 社(78.3%)、「基本方針を策定していた」企業は 254 社(53.5%)、「文化・社会貢献等の専任部署」が設けられている企業は 119 社(25.1%)。
メセナ活動と CSR(企業の社会的責任)の関連	「メセナ活動を CSR の一環として位置付けている」企業は 309 社(65.1%)、「今後 CSR の一環に含めていくと思われる」企業を合わせると 413 社(87.0%)。
メセナ活動の重視点[MA]	「地域文化の振興」295 社(62.1%)、「芸術文化の啓発・普及」272 社(57.3%)は半数以上の企業が選択。「青少年への芸術文化教育」(34.3%)は、この 5 年間で回答率が約 10 ポイント増加。
メセナ活動の支援先やパートナーの選定基準[MA]	「芸術的な質の高さ」227 社(47.8%)が最多。「市民参加・鑑賞者開発の可能性」(31.8%)と「対象としている社会的課題の重要性」(29.7%)は、いずれも 3 年前と比較して回答率が約 7 ポイント増加。
メセナ活動の評価[MA]	メセナ活動を評価する基準については、「参加者・来場者の評価」299 社(62.9%)、「参加者・来場者数」239 社(50.3%)、「社内の評価」174 社(36.6%)、他。観点としては「社会に対する効果・影響があったか」291 社、「目標に対してプログラムが有効か」202 社、他。

時事設問

メセナ活動を通じて企業が得たこと[MA]	「地域との関係がより深まった」308 社(64.8%)、「企業イメージやブランド価値が向上した」265 社(55.8%)、「自社について広く知られるようになった」186 社(39.2%)、「顧客との関係がより深まった」148 社(31.2%)、他。
社員参加を促す制度やプログラム[MA]	メセナ活動を含む社会貢献活動等への社員参加を促す制度は、208 社(43.8%)で導入。その内容は「ボランティア休暇制度」126 社、「社員ボランティア制度」77 社、「マッチングギフト制度」59 社、「募金制度」58 社、他。

別冊の「メセナレポート 2007」に、集計結果をグラフとポイント付で掲載。ご参照ください。